



桜井の里 / 〒959-0318
新潟県西蒲原郡弥彦村大字麓3036番地
TEL.(0256)94-3939 / FAX(0256)94-2552

分水の里 / 〒959-0133
新潟県燕市新堀2479番地2
TEL.(0256)97-7111 / FAX(0256)97-7100

はな広場 / 〒959-0111
新潟県燕市横田9948番地1
TEL.(0256)47-1222 / FAX(0256)63-4050

生きがい広場地蔵堂 / 〒959-0120
新潟県燕市分水栄町1番3号
TEL.(0256)97-7117 / FAX(0256)97-7119

つどい / 〒959-0130
新潟県燕市分水桜町3丁目3番16号
TEL.(0256)77-5511 / FAX(0256)77-5020

当法人ではご利用者のプライバシーに配慮するとともに写真の掲載の際には事前に了解をいただいております

ほのぼのギャラリー



ひな祭り



ひな人形と一緒に記念に撮りました。



ひな祭りのお菓子を召し上がりながら楽しく過ごしました。



フラダンスのリズムに合わせて一緒に踊っています。大変盛り上がりました。



フラダンス



バレンタインデー手作りのチョコを作りました。



とても美味しく出来上がりました。

バレンタインデー

暖かくて
気持ちよかった



桜の木を前にみんなで記念撮影！とてもよい表情をされています。

キレイね

お花見



現在

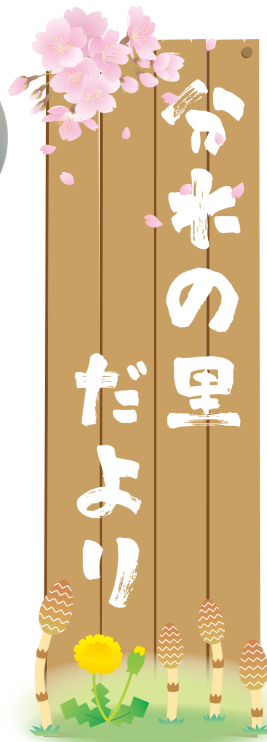
昔は友達と旅行に行くのが大好きだった小林ミヨ様。今は、仲良し三人組でデイサービスもみじを盛り上げて下さるムードメーカーです。

小林ミヨ様

昔



私の自慢の1枚



平成二十八年度 分水の里運営方針
施設長 横山 稔

はじめに

今年度は燕市より「燕市分水保健福祉センター」の譲渡を受け、新しく「分水健康福祉プラザ」をオープンいたしました。あらためて地域の共有財産として地域に根付かせる努力をするとともに、地域の皆さま誰もが集える新たな拠点としての機能を構築していきたいと考えています。また同時に「訪問看護ステーション・桜井」を開設し、いつまでも地域で生活を送れる一助となるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。介護報酬改定で厳しい経営を強いられる中、燕市で来年度から実施される「介護予防・日常生活支援総合事業」の準備を怠りなく進めていきたいと考えています。今年度もよろしくお願いたします。

ケアの具体的進め方

【原点に戻ります】取組三年目

①ご利用者との関わりを大切にします。

分水の里は開所からご利用者と「寄り添う」ことを基本にケアの提供を行ってきました。寄り添う、とはご利用者に対する個別の関わり、その原点をもっと一度確認します。実現するためにには職員一人ひとりの意識が最も重要です。職員は定期的に話し合い、確認し、進めていきます。

②ひとりひとりの歴史を大切に、「自宅」と「ここ」を繋げます。

ご利用者の「自宅」と「ここ」を結ぶために、ご家族・地域との関わりを大切にします。そのためには、「その人」を知ることが大切であり、アセスメントを確実にし、望み生活を実現するために、ご利用者ご家族と共に考えていきます。又茶話会や家族懇談会等を定期的に実施すること、その人が生活を営んできた地域に向くこと、を行います。

③お客様へ、職員へ・・・私たちの接遇はできていますか？

「接遇」は私たちの基本です。挨拶、返事、態度、心からの笑顔、そして皆様への関わり方。またそれぞれが注意し合える関係づくりを行います。「お客様へ、職員の皆さんへ・・・私たちの接遇はできていますか？」

燕市より「燕市分水保健福祉センター」の譲渡を受け「分水健康福祉プラザ」として新たな事業を開始致しました。

「デイサービスもみじ」「燕市分水地区地域包括支援センター」「生活支援ハウス分水こでまり」は以前同様に、分水の里内にありました「ケアプランセンター分水の里」が移設され、「訪問看護ステーション・桜井」の事業が始まりました。

誰もが集まれる場所として、地域の皆様が安心して生活が送れるように努めていきたいと思ひます。

(こでまり)



(デイサービスもみじ)



分水健康福祉プラザ



(デイサービスもみじ・フロア)



(燕市分水地区地域包括支援センター)



(訪問看護ステーション・桜井)



(ケアプランセンター)

ご利用者の皆様に快適に過ごして頂くように話し合いを行います。



フロアでご利用者の方と一緒にお茶を飲みながらお話をしてお過ごします。



フロアで一緒に記念に撮りました。いつもよりとっぴくりとした様子で写真撮影に照れています。

分水の里部書紹介、第5回目となりました。今回は特別養護老人ホーム生活支援課さんとフロアです。

ふきの里 Vol.5

ありがとうございます

ボランティア紹介

「配食サービス」は平成10年に弥彦村の委託を受け開始しました。ご利用者のご希望に対応した「夕食お弁当」を365日配達して下さっています。



総会に出席されたボランティアの皆様と職員

配達は2人で1組、1日2組体制でご利用者の方にお声がけしながら、お弁当をお届けしています。配食ボランティアと一緒にくださる方、募集しています。



お正月のお弁当

佐藤雪江様 祝100歳

おめでとうございます。

グループホームこいてにおられる佐藤様が、3月14日に100歳の誕生日を迎えられました。弥彦村よりお祝いで頂き、誕生日当日は、ご家族とご自宅で過ごされました。「こんなにしてもらってありがとうございます。」と、とてもいい笑顔を見せて下さいました。食器拭きや洗濯物たたみを、丁寧にこなす佐藤様。これから元気いっぱいお過ごし下さい。



「日々の風景」写真館



国上山に行ってきました(朝日山展望台)



食事の盛りつけは私達にまかせて!



よっ!!そば打ち名人!!



手作りおはぎはおいしいわ♪



いきつけの酒屋で一杯!! うまいね~♪



たまには外で食事メニューが多くて迷うわ~



もうゴミはないかしら?



足湯は気持ち良いわ



皆でセラバンド体操!! 若者には負けないぞ!!

居酒屋なでしこ 開店

今回のテーマは「うるう年」。宇宙をイメージした装飾の中で、「餃子」や「たこ焼き」など手作りの料理が並びました。ご家族のかたにもお越しいただき、ごちそうを味わいながらカラオケを楽しみ、たくさんの笑顔が見られました。

※ご利用者の体調を考慮し、日程の変更と共になでしこフロアのみ開催とさせて頂きました。



節分 ひなまつり

2月3日は節分の豆まき、3月3日はひな祭りと、各フロアで工夫されたイベントが行われました。リアルな鬼の登場や、手作りデザートで楽しまれていました。



平成二十八年 桜井の里運営方針
施設長 土屋 誠

桜井の里 たより

1. はじめに

桜井の里は地元の皆様、ご利用者・ご家族の皆様を支えていただく中で新しい春を迎えることができました。今年度は、ご利用者の皆様がより笑顔で過ごして頂くために、私たち職員は常に「笑顔」と「優しい言葉」を大切にしたいと思います。また、「ご利用者」と「優しい言葉」をはじめ、いろいろな場面に職員が「気付きの力」を向上したいと考えます。

2. 今年度の重点方針

- ①「笑顔」と「優しい言葉」を意識します。
・ご利用者、ご家族、地域の方々に関わる場面を始め、職員同士においても、「笑顔」と「優しい言葉」を意識して温かく安心できる環境と楽しく笑いのある空間を作りたいと思います。
②一人ひとりの「気付きの力」を向上します。
・ご利用者との生活の中で職員の「何故?」「どうして?」と考える「気付きの力」を向上しご利用者の少しの変化に気付いたり、「ご利用者の生活環境を整えていきます。」と桜井の里に来園される全ての方々を心よりお迎えします。
③職員が笑顔、表情、言葉、振る舞い、そして環境を暖かみのある場所にして、来園していただく皆さまに「桜井の里に来て良かった」と思ってもらえるようにします。
④ケアプランを通してご利用者一人ひとりが考え、望んでいられる生活の実現に向けて、ご家族の方々と一緒に考えていきます。
・アシメント及びケアプランの立案の過程を通して、ご利用者の思いや望みを汲み取り、その思い望みの実現化に向けてご家族、地域の方々の力もお借りする中で実現させていきたいと思えます。
⑤家族懇談会を定例化し、ご家族の思い、考えをお聴きします。
・各フロア毎におこなっています「家族懇談会」をより具体的に開催して、ご家族の思い、考えをお聴きする中でご利用者の生活場面に活かしていきます。
⑥ご利用者への支援は各部署、各フロア、職員が互いに協力して、それぞれの仕事が重なり合う仕事をします。
・ご利用者との関わりや支援は、その部署(フロア) 完結では無く、他部署(フロア) のことも自らのことと捉えて重なり合う仕事をします。
⑦職員一人ひとりの担当、役割に責任を持った仕事をします。
・ご利用者の担当、役割、各委員会活動や、部署(フロア) の担当等の自らの仕事に責任を持ち、他人任せにすることなく仕事をします。

春満開

今年は例年に比べ陽気な天気が続きましたね。そのおかげもあり、満開の桜など見どころも沢山あり、皆様笑顔で春を楽しまれています。



近隣の公園以外でも多くの桜が花を咲かせていました。



春の訪れとともに「しあわせ」も感じる季節です。





はな広場



平成二十八年年度運営方針
施設長 川村 小津江

今年度は、はな広場が開設してから五年が経過し、六年目を迎える年になります。

東北大震災が発生した頃に着工し、災害に強い施設、地域の皆様の「安心の拠り所」となるべき施設として運営をしてきました。ようやく地域に認知されてきたと思われま

す。「地域密着ユニット型福祉施設 しまかみ」の入居者様も半数以上が入れ替わり、少しずつ重度化の状態になってこられはな広場の「看取り」の援助も大切な役割になってきています。

お一人ひとりの思いや意思が十分に尊重され、最期の瞬間までかかわることのできる関係性の中で行われる看取りの実践に努めます。

「小規模多機能ホームよこたの家」では、8割以上がはな広場のある地域の方たちの利用となっております。通い中心の小規模多機能の支援が訪問中心の支援に評価を得て、加算がつくようになりました。お一人ひとりの思いや生活リズムに添った支援を行うことで、住み慣れた地域で最期まで支援できる小規模多機能型の支援内容が理解されてきています。

今年度から、法人の拠点編成の変更に伴い、「地域密着サービス拠点」として、新たにグループホーム我が家・グループホーム縁が同じ拠点として連携を組むことになりました。離れた場所同志での連携の為、細やかな情報伝達、情報共有を行い運営していきます。

はな広場・生きがい広場地蔵堂・地域生活支援施設つどいと共に、それぞれの施設の地域性を考え、地域交流、地域支援、地域貢献を積極的に行っていくきたいと思います。

生きがい広場地蔵堂 デイサービス 地域の茶の間 シニアハウス



地域と共に
センター長 小杉 裕子

生きがい広場地蔵堂は今年で十年の節目を迎えます。組織編制では法人拠点も地域密着サービス拠点として変わり、今まで以上に地域との関わりを大切に運営させて頂きたいと考えます。

地域のご理解とご支援を頂き、今の生きがい広場地蔵堂の事業が当たり前のようになっている事を忘れないように、当事業所は何を行うべきか職員ひとり一人が意識し、より一層地域連携を図り、多くの方が集える環境を整備していきたいと考えます。

【地域ご同好さん】

●足湯及びロビーの一般開放
市の買い物やお散歩の際におしゃべりの場として年間を通して足湯とロビーを開放しております。コーヒーも無料でご利用頂ける事や交流の場としていつでもお気軽にお立ち寄り頂けるようアピールしてまいります。

●デイサービスを終了した時間帯を活用してお風呂の一般開放
つい億劫になりがちなお風呂のお掃除も心配なし！高齢者の方を対象に午後六時～午後八時までの間、心安らぐお風呂の「お風呂」を一般開放しております。

●寄り合い広場「地域の茶の間」の一般開放
一階の和室を午後六時～午後九時まで一般開放しております。近隣地域の集会所やサークル活動の場、「お茶の間」を開放しております。地域の方が気軽に集える処としてご利用頂けるようお伝えしてまいります。

●地域支援活動の実現

地域の方から足を運んで頂くきっかけ作りとして、職員がまず地域に出掛け交流を大切に「世代を超えた人達との交流」の実現に向け積極的に働きかけてまいります。



桜も笑顔(^o^)も満開です!!

お花見ドライブ

今年は弥彦・分水へお花見ドライブに行き、桜が満開に咲き誇りとても綺麗で感動しました♪



お花見



桜に負けぬ笑顔の花



晴天のもとで、満開の桜を満喫しました。皆一緒にハイ、ポーズ！皆と一緒にだと楽しいですね



春だね



綺麗だな



暖かな陽の下で春の訪れを感じました



あったかくて気持ちいいね



桜の木の下でポカポカ陽気は絶好の休憩場所ですね♪

日常風景



収穫と夏に向けて植えつけをしました



桜餅に、お内裏様とお雛様ですね♪



先生いつもありがとうね♪

バレンタイン

大好きな人に手作りのチョコをプレゼント

生きがい農園



お芋の収穫



おしるこ最高♥



餅つき



記念の一枚 パチリ



ひな祭り



グループホーム について・我が家・縁 えにし

グループホームは、家庭的な環境の下、皆で楽しく共同生活をしています。少人数なので気心も知れた仲間と楽しい毎日を元気に過ごしています。



グループホーム 縁 えにし

お年寄りだって女の子の節句は大切です！
♪今日はおいしいひな祭り♪
♪手作りひな御膳にご満悦でした！今年の桜はとも早く、近所の公園の満開の桜の下でのお花見会！たくさんの笑顔が咲きました。



つどいの家 運営方針
施設長 青木 裕子



地域生活支援施設つどいとは、三月二十日で一周年を迎えました。「住み慣れた地域で、いつまでも暮らしたい」を運営方針として、地域で暮らす高齢者の生活を支援してまいりました。無我夢中で過ごしてきた一年ではありましたが、二八年度は、「地域を支える」ということを、改めて考えながら支援していきたいと考えております。

「つどい運営方針」

◇「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」を基本理念といたします。

◇グループホームでは、認知症の方のもう一つのわが家として、できる力を継続しながら安心した生活を支援していきます。

◇小規模多機能ホームでは、通い・泊り・訪問の三つの機能を活かし、住み慣れた地域での生活を支援していきます。

◇「足湯」と「さくらまちカフェ（認知症カフェ）」を常設し、地域の人の集える場として提供していきます。



女子会はやっぱりオシャレなカフェで♪

グループホーム について

お花見

大戸の公園までお花見に行ってきました。どこもかしこも満開で最高でした。

この日の梅も満開

お花見

弥彦公園や大河津分水、駅や近所の公園など綺麗に咲いた桜を見に出かけました。



おいやま綺麗なこと

いっぺえ咲いてるね〜

こっちを向いて〜パンヤリ★

花見日和だな〜



お茶の席

桃の節句にお茶の会を開きました



美味しくお茶を頂きました



節分

鬼と一緒に記念写真



力を合わせて鬼を退治!!



グループホーム 我が家

お花見

春の楽しみ〜

ひな祭りでは桃のケーキやご馳走を作って楽しみました。お花見ドライブにも出かけて春を感じて来ました。



ひな祭り

桃のケーキの出来上がり〜

炊飯器で桃のケーキ

さくら木雛人形

日常風景



桜町カフェでのご様子



手作りのひな人形作り



クッキー作りに挑戦



フラダンスの方達と記念に

夢・キラリ 職員紹介!

この2ページは、職員の夢や思いに、あるいは法人の取組などにフォーカスしていくページですので、今後ともご声援どうぞよろしくお願いいたします。



グループホームこいて
計画作成担当者兼介護職員 飯田 隆行

平成16年4月、桜井の里福祉会に入社して12年が過ぎました。今年度からグループホームこいての計画作成担当者兼介護職員として働かせて頂いております。12年間で色々な経験をさせて頂きましたが、その中でも東日本大震災の被災地、岩手県大船渡市に約半年間出向に行かせて頂いた事が一番の思い出です。写真にもありますが、介護以外に被災地の方と関われる事は無いかな?と思い購入したのがハーモニカでした。ハーモニカは大震災の起きた月に購入しましたが、今では趣味の一つとなり、機会があれば吹いています。これからも笑顔を忘れず、人生の先輩、スタッフから信頼してもらえる職員に成長していきたいと思っています。



グループホームつどいの家・桜町
介護職員 川本 玲子

平成17年8月に桜井の里福祉会に入社し、あっという間に11年が過ぎました。分水の里、生きがい広場地蔵堂など5部署の勤務を経て、昨年5月からグループホームつどいの家・桜町のやまぼうしフロアに異動となりました。ご利用者をはじめご家族、地域の方々、スタッフに支えて頂いたことに感謝し、皆様と笑顔で元気に楽しい時間が過ごせるように努めていきたいと思っています。プライベートではスポーツ観戦が大好きで、子供達が学生の頃はラグビーの応援に行き、今は茂木で開催される「モトGP日本グランプリ」観戦に行っています。バイクには乗れない私ですが、スピードと爆音がたまらなく好きで、毎年出かけて行き観戦を楽しんでいます。そして、大切な家族の一員の猫(福と學々)にいつも癒されています。



(写真左が本人)

デイサービスセンター 分水の里さくら
在宅支援リーダー 山口 真樹子

分水の里が開設して17年、ずーっと在宅支援課でお世話になっております。沢山のご利用者をはじめ、ご家族様・地域の方々・職員皆様から名前を呼んで頂く事が一番の幸せと感謝しながら「今日もがんばろう」と思い毎日、仕事させて頂いております。今年、2月には50歳の誕生日を迎えて、新たに自分の目標を持ってがんばっている所です。新緑の季節を迎え、ご利用者の方々と外に出る機会を多く持ち、「デイサービスセンター分水の里さくらに来てよかった。」「毎日が楽しい。」と思って頂ける様に、他の職員と共に頑張っていきたいと思っています。これからもデイサービスセンター分水の里さくら・もみじ共に指導のほどよろしくお願い致します。



生きがい広場地蔵堂・デイサービス
生活相談員兼介護職員 宮島 慶子

社会福祉法人桜井の里福祉会に入社して早くも6年目になりました。入社当初はわからないことがばかりで戸惑い、失敗して悩むことも多くありましたがご利用者の皆様や先輩職員の皆様に暖かく支えて頂きとても感謝しています。生活相談員としてはまだまだ未熟であることを実感し、反省や弱気になることも時折ありますが、これまでの経験で学ばせて頂いたことを力に、そしてこれからも多くのことを学び成長していきたいと思っています。休みの日は映画を観たり、友達とご飯や遊びに行ったりして過ごしています。元々運動は苦手な方ですが、春になり暖かくなってきたので少し身体を動かすようなことを始めてみようかなと最近思っています。



地域密着ユニット型介護福祉施設はな広場・しまかみ
介護支援専門員兼介護職員 斎藤 香織

桜井の里に務めて11年目、はな広場に来て2年目が過ぎました。この仕事に就き日々の生活に感謝をするようになりました。また四季の変化をとでも感じるようになりました。仕事に笑ったり泣いたり時には落ち込むこともありますが、毎日楽しく過ごせているのも、この介護の仕事に就いたからだと思っています。私生活ではテニスやバレー、旅行と好きなことは色々ありますが、これからも周りのみんなに感謝の心を忘れずに元気に頑張ろうと思っています。



特別養護老人ホーム 桜井の里・絆
介護職員 鈴木 沙織

入社して7年が経ちました。入社したばかりの時は何も分からず、泣きべそをかいたこともあった私が、楽しく仕事をしてこれたのも、ご利用者や職員の方々のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、ご利用者の方々には人生の先輩としてアドバイスを頂いたこともありました。今年の4月より分水の里から桜井の里の方へ異動となりました。初心に戻り、新たな気持ちで仕事をしていきたいと思っています。休日は出かけることが好きなので、大好きなスイーツ巡りなどしております。また旅行も好きで、去年は念願だった神戸のルミナリを見に行きました。今年30歳になるため自分へのご褒美に旅行を計画中です。



特別養護老人ホーム 分水の里
介護支援専門員 涌井 千鶴

桜井の里福祉会に入社して約10年。介護の資格も経験もなく、分からないばかりで、毎日が不安でしたが、わからないことはご利用者の皆さんが、介護の基礎は職員の皆さんが教えてくれました。仕事を続けられる環境を家族が与えてくれました。皆さんの励ましと支えがあったから今の私があると感謝しています。プライベートでは超インドア派で、家が大好き。休日にはジグソーパズル、ナンプレ、ロジック、パッチワークなどを楽しんでいます。夢中になり過ぎて気が付くと何時間も経っていたなんてこともあります。2年ほど前からはフラダンスを始めました。施設や催し物にボランティアで参加する事もあり会場のみなさんが楽しそうにしているのを見て、自分自身も楽しく過ごさせていたいただいています。



特別養護老人ホーム 分水の里・ふじフロア
介護職員 東條 訓之

入社させて頂き仕事を始めてからあっという間に3年が経ち、今年度から4年目になりました。知識も技術も乏しく、たくさん迷惑をかけてしまったと思います。経験値を重ね、技術の指導を受け3年間動いてきましたが、仕事に対する気持ちはいつも入社時と変わらず新鮮な思いを持ち続けていきたいと思っています。新人の頃は常に「足を引っ張った分、仕事で返さなければいけない」と感じていました。不器用で未熟な私がここまで3年間仕事を続けて頂いた今、一つ一つ仕事で還元していかなければいけないと考えています。そして、たまには気負う事なく、ふと仕事をしている自分から、生活者としての自分に戻り、本当にたいせつなことは何か見つめ直し、より良いお手伝いできるような努力をしていきたいです。

ある日の防災訓練の風景



桜井の里福祉会では、各事業所で火災や地震などの災害を想定した防災訓練を定期的に行っております。最近発生した熊本地震をはじめ、東日本大震災や中越地震など災害は他人事ではありません。万が一の場合に備え、ご利用者や地域住民も交えながら真剣に訓練に取り組んでいます。



桜井の里の避難訓練の様子。ご利用者も職員も真剣です。



はな広場の避難訓練後、消防士・地域住民を交えて検証の様子。



分水の里の救命訓練の様子。消防士より講師をしていただきました。



グループホーム縁のご利用者も参加した燕シェイクアウト訓練。



地域住民も交えて模擬消火器を使用した消火訓練も行っています。



エレベーターが使用できなくなったことを想定した避難訓練。

訪問看護ステーション・桜井 利用申込開始

この春、おかげさまで、かねてよりご利用者・ご家族・地域の方々からご要望のありました訪問看護事業（予防含む）である「訪問看護ステーション・桜井」を開所する運びとなりました。

当事業の特色は、ご自宅・ご家族での療養生活を支援するために、かかりつけの医師の指示にもとづき、看護師・理学療法士らがご自宅を訪問するサービスです。又、開設場所は地域の方に馴染み深い旧燕市分水保健福祉センターであり、同時期に燕市より譲渡を受け、名称を「分水健康福祉プラザ」とし、今までの当法人の施設サービス、在宅サービスに加え、より拡充をめざすところです。

今までの事業同様、より地域に根ざした信頼される事業を、スタッフ一同めざしますので皆様どうぞ気軽にご相談、ご利用下さい。心よりお待ちしております。

法人からの
お知らせ!!

主なサービス内容

- ①病状や全身状態の観察
- ②清拭・洗髪等による清潔の保持、食事及び排泄等日常生活の世話
- ③じょく瘡の予防・処置
- ④リハビリテーション
- ⑤ターミナルケア、認知症患者の看護
- ⑥療養生活への指導・助言等
- ⑦カテーテル等の交換・管理
- ⑧その他在宅療養を行うために必要な医師の指示による医療処置



「訪問看護ステーション・桜井」の配属スタッフら

分水健康福祉プラザのご案内

- ①訪問看護ステーション・桜井（1F）
- ②燕市分水地区地域包括支援センター（1F）
- ③ケアプランセンター分水の里（2F）

（4月より特別養護老人ホーム分水の里より移転）

上記当法人の事業の他、今まで通り

- ①燕市社会福祉協議会分水支所様
- ②分水地区老人クラブ連合会様
- ③介護予防事業等

の活動場所ですので合わせてよろしくお願いたします。



この春より分水健康福祉プラザへ（旧燕市分水保健福祉センター）特別養護老人ホーム分水の里向かい

お問い合わせ、ご利用は

訪問看護ステーション・桜井

〒959-0133 新潟県燕市新堀1138番地1 (分水健康福祉プラザ内)

☎(0256)78-8300 FAX(0256)78-8302

E-mail : homon@sakurai-fukushi.or.jp

新規採用職員研修

当法人には、新人の職員でも安心して技術を修得し、しっかりご利用者とかかわれるような研修制度があります。標記研修もその中の大切なひとつであり、3月末より3日間、1週おいて「ホテル飛鳥」にて1泊2日の研修を行ない、小誌の発行の頃には、各々の配属に少しずつ馴れた頃かと思いますが、これからもどんどん力を発揮していくところです。



「人として」、スタートは
柏原理事長より



寺泊岬温泉「ホテル飛鳥」
で泊まりがけの研修
(グループワーク時)

平成28年度 入社式・辞令交付式 永年勤続・定年退職者うを表彰

今春は、福祉に夢を掲げた28名が入社し、その後、永年勤続の方5名、定年退職の方2名を囲み、和やかな茶話会を催しました。



誓いの言葉
デイサービスやひこ、生活相談員兼介護職員の高山恵衣より



茶話会では、昔の写真も登場し、懐かしさで万感の思いが

編集後記

いよいよ新年度がスタートしました。そんな最中に、熊本地震が起き、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。と同時に復興をお祈りします。当法人は、1週間、熊本県益城郡のグループホームへ4人の職員を派遣しました。今後も法人として、何かできることを考え行動したいと考えております。



ホームページアドレス : <http://www.sakurai-fukushi.or.jp>